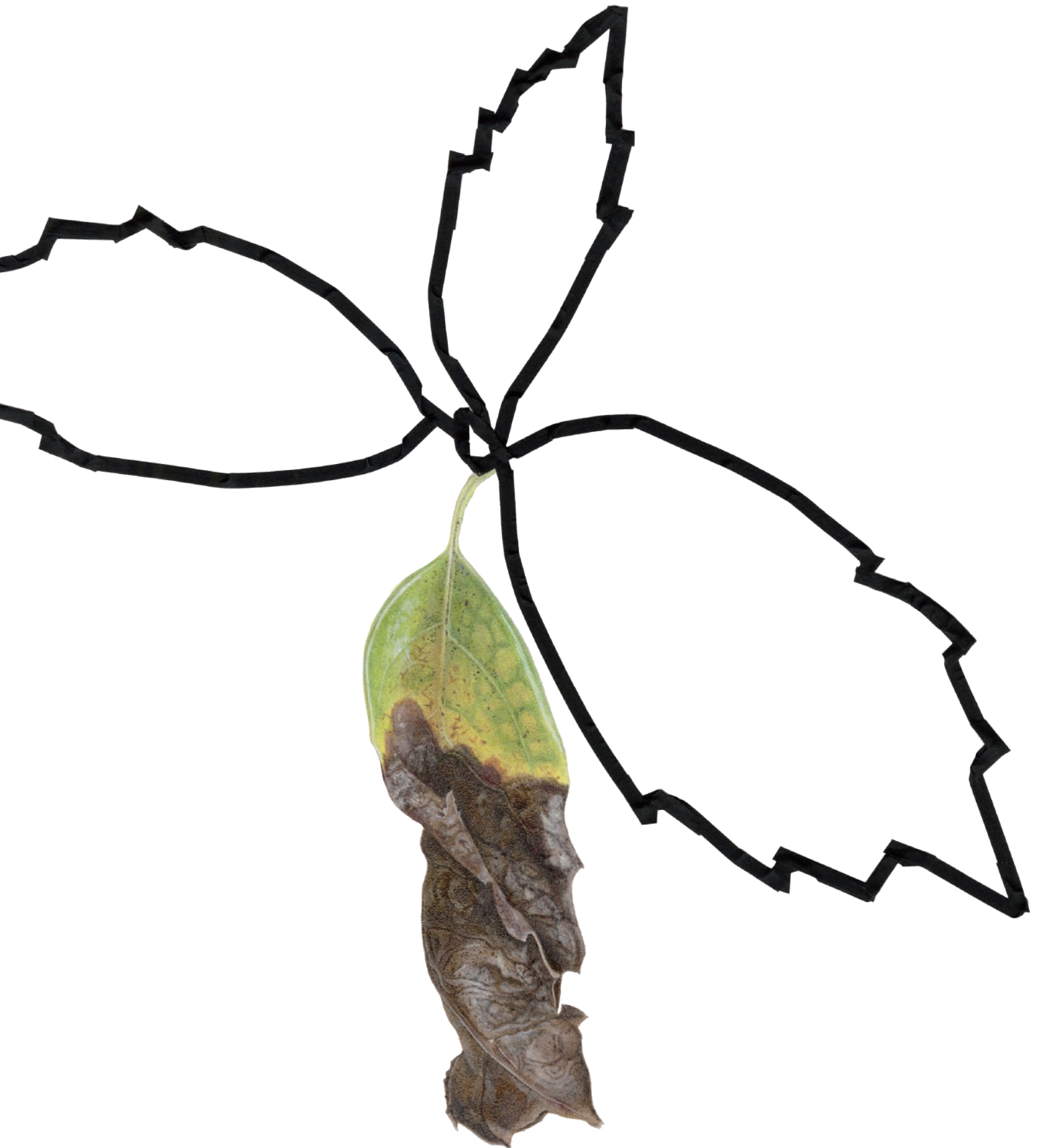


YAMATO Nature Circle



2025年5月

葉画家・群馬直美のヤマトビオトープ園の葉っぱたち Vol.76

— 絵と文 群馬直美 —

葉っぱのダンスー光合成ー《アオキ》

ヤマトビオトープ園のアオキの木をのぞき込むと、奇妙な葉っぱに目が止まった。
3分の1がつつやつつやして、残り3分の2が朽ち枯れ果てている。生と死が同居した葉っぱだ。
私たち人間は野菜や肉などを食べてエネルギーを得ているけれど、
植物はほかの動植物を食べることなく、光を利用してエネルギーをつくりだしている。
根っから水と養分を吸収し、葉っぱが日光を浴びると、根から吸い上げた水と、
葉裏の気孔からとり入れた二酸化炭素を、葉緑体がデンプンに変える。
そのときできた酸素を気孔から放出する。
この《光合成》によってつくりだされた酸素、植物にとっては不要なものが、
地球上のすべての生き物の命を支えている。
葉っぱが《光合成》をしているから、人間も動物も生きている。
酸素を吸って息をすることができる。
葉っぱの《光合成》に敬意を表し、30年前に植物が光合成をしている様子を
シンプルな動きに置き換えて『葉っぱのダンスー光合成ー』を創作した。
私たちのからだは、植物のように二酸化炭素を酸素にすることはできないけれど、
このダンスをみんなで踊って、よいエネルギーを地球上に送り出そう、というダンス。
ヤマトビオトープ園で出会ったアオキの葉っぱ。
くちゃくちゃに枯れたこのアオキの葉っぱもまた、《光合成》ダンスを踊り、
エネルギーをつくりだし、地球に酸素を還元してくれた葉っぱの一枚である。
葉っぱたちに感謝をしつつ、周りの葉はマステドローイングで描いた。



●ちなみに『葉っぱのダンスー光合成ー』は、
右記QRコードからご覧いただけます。



●世田谷美術館でこの春開催された【春の盆踊り! みんなで輪になって
『葉っぱのダンスー光合成ー』を踊ろう!】の振付け動画は、こちら。



※マステドローイングとは、作者が開発したマスキングテープを貼って描く手法のこと。

《表紙の絵》アオキの葉っぱ

「黄緑色のヘルメットをかぶった
日焼けした人の横顔」

・ヤマトビオトープ園にて 2025.1.20採集
(作品の完成日は2025年3月6日)
・紙(ファブリアーノエキストラホワイト極細目)/
テンペラ・油絵の具・マスキングテープ
・size:335mm×245mm ©Naomi Gumma

群馬直美 GUMMA NAOMI プロフィール

高崎市生まれ。1982年、東京造形大学絵画科卒業。在学中に新緑の美しさ、その生命力に
深く癒された経験から、“葉っぱ”をテーマとする創作活動に入る。「葉っぱの精神ーこの世
の中の一つ一つのものは全て同じ価値があり光り輝く存在である」に則り、1991年テンペラ
で克明に描く現在の作風に至る。著書に『言の葉 葉っぱ暦』『群馬直美の木の葉と木の実の
美術館』『葉っぱ描命』他。東京都立川市在住。

<https://www.wood.jp/konoha/>